



有機栽培の決め手!

私のバイオダルマとの出会い

エコプラムファーム
えこう きよみ
江向 清美

枝いっぱい赤く大きく
実った南高梅。



バイオダルマ使用(左)とバイオダルマ未使用(右)、生育の差がはっきりわかる。



バイオダルマ

わが家は、とても美しい海岸が続く和歌山県南部町みなべにあり、白浜温泉を一望できます。この自然に恵まれた環境で、紀州南部で生まれた南高梅を育てています。父親の梅作りは私たちの子育てと同じで、「過保護にしたらあかん。自然に耐えられる強い梅を作らなアカン」「インスタントものはアカン。いい肥料をやらないと土や木がだめになるし、いい梅はできん」と、いつも口癖のように言っています。土づくりと健康で質のよい梅の木を育てることにこだわっているのです。化学肥料は安くつくものを使わずに、梅畑の土質に合うように配合してもらった有機肥料を使って農業を営んでいます。

迷いと不安の中、 梅畑にバイオダルマをまきました

梅は公害に弱い木であり、気候温暖化や、様々な環境の悪化で、梅の産地では梅枯れが多くなり、わが家でも梅枯れが目立ち始めました。「どうにかしなければ!」との焦りから、これはよいものだと聞けば試してきましたが、なかなか成果が出ませんでした。

そのように思い悩んでいたとき、知人からバイオダルマのことを聞き、知り合いの先生や販売店の方々から説明を受けました。それによると、脱皮阻害剤、消毒剤、農薬、殺虫剤などが一切混入していない100%有機質であることに加え、これまで農薬成分のない土壌にすんでいた土壌菌が入っている、安全性が確保された完熟肥料

だということ、それに、この土壌菌はかなりの高温にも耐えられる強い菌だということを知り、温暖化の環境には最適ではないかと感じました。

また、この肥料は完全発酵しているのに臭いがなく、安心してすぐに植物を植えられるとのこと。ほかにはないこだわりの肥料だと感じ、梅栽培に取り入れたいと考えようになりました。

しかし、南高梅の産地でこの肥料を使うのはおそらくわが家が初めてで、どうしようかと迷いや不安がありました。そんな中、父親の「やってみたら」の一声で決心し、約3・5haの梅畑全部にバイオダルマをまきました。

こんなにおいしい野菜を食べてしまつと、 ほかの野菜は食べられません!

父親は「梅の実に肥料が効いてくる時期を知ることが大切」と常々言うっており、わが家では毎年2

月末から3月の梅の花が終わるころに肥料をやっています。今回バイオダルマを取り入れたのですが、



満開の梅畑。



▶ 江向さんの梅畑。梅が一面に実っている。バイオダルマを使うようになってから、濃厚なよい梅の香りがするようになった。

この肥料にはチツソ分が少ないので、その不足分には今まで与えていた魚粉を主体に配合した有機肥料を追加して与えました。

しばらくすると、土がふかふかになってきたのが目に見えてわかりました。今までパンパンにかたまっていた土が、歩くと弾力感を感じるようになり、また草が抜きやすくなり、かたかった草もやわらかい草になってきました。

梅畑にバイオダルマをまいたものの、梅は長命で結果がわかるのに時間がかかるので、すぐに収穫できる野菜でバイオダルマを試してみました。その結果は以下の通りです。

- ・ナスやダイコンなどは弾力感があり、繊維が細かく非常にやわらかくて甘みも多く、料理をするとき火が早くとおって調理に時間がかからなくなった。
- ・ナスは切っても今までのように黒くならにくく、11月末までおいしい味のまま収穫できた。
- ・ダイコンはスが入りやすくなった。
- ・ホウレンソウなどの葉菜類も深

みのある味で、湯がいてもやわらかいのにとろけぬ。
・トコロイモはすりおろしても黒く変色しない。
・アクが少なくなった。

実際に皆様にも食べていただきたいのですが、こんなにおいしい野菜を食べてしまうと、ほかの野菜は食べられませぬ。ほかの肥料を使って野菜を作っても、こんな味はまず出せないと思います。ナスやピーマンなど次々と実が成る

「買ってきたものは信用できん」といつ、こだわりの父親も納得

「こんなによい肥料なら、きつと南高梅の苗木作りにもよいはず」と思い、使ってみました。わが家では苗木作りも「買ってきたものは信用できん」という、こだわりのある父親の考え方により、タネから育てています。

まず、6月に元気そうな梅の実を選んで採種し、それをまいて育てます。翌秋にはよい苗木に育っていますので、よい穂木を梅畑で切ってきて、その苗木に接ぎ木し

野菜は、この肥料が切れてくると皮も中身もかたくなり、味が悪くなりますが、そこでバイオダルマをやると、またおいしい野菜に戻ります。

バイオダルマのすばらしさが次々とわかり、すっかりこの肥料のファンになりました。この肥料のおかげで、庭の花もきれいな花が咲き、観葉植物も大きな葉を茂らせ、今ではわが家の植物はすべてバイオダルマに頼るようになりました。

育てています。苗木の根も、この肥料を与えるとたくさんのきれいな根を出しました。

梅は、タネまきから収穫できるまで約10年ぐらいかかります。この肥料を使い出してから3年目ですが、温暖化などの影響から大切な南高梅を守っていかれたらと思いい、この肥料とともに健康で品質のよい南高梅作りに取り組んでいます。おかげさまで、まるでお化けのように大きくなった木もあります。

有機栽培の決め手! 私のバイオダルマとの出会い

お客様のために、
いずれは無農薬栽培に……

手探りの状態で大変ですが、毎年少ずつ農薬の濃度を薄く、また散布の回数を少なく……と、低農薬と減農薬の二方面で取り組んでいます。毎年、梅の木が健康になるにつれ、梅の実もきれいになってきているように感じます。同時に、花の香りや実の香りが年々

濃くなってきているようで、近年は作業中もとてもよい香りに包まれています。また今年の梅が、どんなにきれいでよい香りを届けてくれるのか楽しみです。もともと病気に弱い南高梅ですが、低農薬と減農薬に挑戦し続け、いずれできれば無農薬で育て、今以上にき

れいでおいしい梅が収穫できれば最高です。お客様に安心して食べさせていただける品質のよい梅作りを目標に、今後も南高梅を作っていきます。

この肥料は、土を元気によみがえらせるすばらしい肥料だと、3年ほど使ってみて、つくづく感じました。「土が元気になると作物も元気に育つ」、この肥料のパワーで、味も色つやもほかの肥料ではまねのできない作物ができると

いうことを、体験から感じることでできました。梅が果物のようにそのまま食べることができれば、「きつと甘くておいしいだろうなあ」と思います。中身がやわらかで、外皮は色がさえ、熟れてくるにつれピカピカになって光沢があり、とてもきれいな色になります。これからもわが家ではバイオダルマを使い、南高梅を誰にも負けないきれいでおいしい梅に育てていきたいと考えています。

親子三代で愛し続ける南高梅

昨年から息子が私たちと一緒に梅作りを始めました。この肥料のよさを理解してこの仕事を愛し続け、父が育ててきた南高梅を息子がもっとすばらしいものにしてあげられればと思いながら、父から私、そして息子へとバトンタッチできる日が1日も早く訪れることを願っています。南高梅の里で、おそらくわが家が一番最初にこの肥料に出会えたことは、この肥料を作った私の先生やタキイのおかげです。本当にこの肥料はほかの肥料にない最高のものだと思います。今は、バイオダルマとの出会いに感謝の気持ちでいっぱいです。



バイオダルマを使った有機栽培を目指しておられる江向さん一家。



紀州南部の江向家自慢の ふる里白干梅(南高梅) 食べ方レシピ付き

バイオダルマを使った有機・低農薬栽培で品質にこだわった紀州南部の南高梅です。

6月に天然の粗塩で漬けた江向家自慢の白干梅です。ご安心してご賞味いただけます。

- ☎24-021-01 内容量：3L・800g(約37粒) 価格 3,400円(ギフト向き)
- ☎24-021-02 内容量：3L・500g(約22粒) 価格 2,500円(ギフト向き)
- ☎24-021-03 内容量：無選別・800g 価格 2,800円(ご家庭向き)
- ☎24-021-04 内容量：無選別・500g 価格 2,200円(ご家庭向き)

無選別の粒数はサイズにより異なります。
塩分約18～20%(梅干しに塩の結晶がついている場合があります。レシピに従いお好みの味にお召し上がりください。)

表示価格は消費税込みの価格です。
ご注文は専用ハガキか添付の郵便振替用紙をご利用ください。

ご注文書には申込番号をご記入ください。